

ロベール・ブレッソン

Robert Bresson

生年月日 1901/09/25

出身地 フランス／ピュイ＝ド＝ドーム

没年 1999/12/18

【バイオグラフィ】

■当初は画家を目指していたが、映画に興味を持ち34年に中篇“Les Affaires publiques”を発表。その後シナリオライターや撮影スタッフとして活躍し、43年に初の長編“Les Anges du peche”を監督した。49年にはジャン・コクトーらとともに、後の“カイエ・デュ・シネマ”の母体とも言うべき組織“オブジェクティブ49”を創設。真実の映画を追究する自らの作風を“シネマトグラフ”と名付けた。代表作は「ブローニュの森の貴婦人たち」、「抵抗（レジスタンス）－死刑囚の手記より－」、「スリ（掏摸）」、「ラルジャン」などがある。99年、老衰のために死亡した。

【フィルモグラフィ】

ラルジャン (1983)	監督, 脚本
たぶん悪魔が (1977)	監督, 脚本
湖のランスロ (1974)	監督, 脚本
白夜 (1971)	監督, 脚本
やさしい女 (1969)	監督, 脚本
少女ムシエット (1967)	監督, 脚本
バルタザールどこへ行く (1964)	監督, 脚本
ジャンヌ・ダルク裁判 (1962)	監督, 脚本
スリ (掏摸) (1960)	監督, 脚本
抵抗 (レジスタンス)－死刑囚の手記より－ (1956)	監督, 脚本
田舎司祭の日記 (1950)	監督, 脚本
ブローニュの森の貴婦人たち (1944)	監督, 脚本
罪の天使たち (1943)	監督, 脚本